

# まず

## ✿気づきから最初の一步へ✿

自分の住むまちで、気になるところがたくさんある・・・  
それを何とか変えたいけれど、地域の活動は、なかなか思うようには進まないし、  
みんなの意見をまとめて行くのも大変・・・  
行政に頼んでみても、これまで通りのやり方では解決しそうにないし・・・  
でも、やっぱり何とかしたい・・・

そんな思い、気づきから、自分たちの住むまちを良くする活動が始まります。  
あなたの気づきを大切に、まずは最初の一步を踏み出してみましょう。大丈夫。  
やり方は、いろいろあります・・・

# 一人ひとりの気づきから

## 一人ひとりの気づきから

自分たちの住むまちを良くしていくにはどうしたらいいの？

程度の差こそあれ、自分たちの住むまちを良くしたいと思う気持ちは共通です。例えば、自治会の役員をされている方は、分別ゴミの出し方や、街灯の修繕など、日常的な暮らしに関わるさまざまな問題の苦情や相談を受けているかもしれません。また、青少年育成協議会の方は、凶悪な犯罪が頻発する状況を見て、子どもたちが安全に暮らせる仕組みづくりに、頭を悩ませていらっしゃるかもしれません。あるいは、ふれあいのまちづくり協議会の方々は、地域福祉センターをいかにうまく活用できるか、一生懸命アイデアを出そうとされているかもしれません。



後ほど詳しくふれますが、神戸市には、同じ地域の中に、活動目的や対象が多様ないくつもの団体があります。各団体は、地域を良くするためにそれぞれに活動を進め、一定の成果を納めています。



しかし、例えば、これまでになかったような新しい課題が生じたり、将来に備えて今から対策を考えておく必要がある場合、行政や地域団体だけで、十分な対処ができるとは限らないのです。

そんなとき、自分たちの住むまちを良くしていくのに、一番大切なものは...？

それはおそらく、あなた自身の「気づき」です。

毎日の暮らしの中で、自分の住むまちや、地域で、気になるところを発見し、そこでの問題を解決したい、もっとまちの魅力を伸ばしていきたい、という思いが、何よりも大切だと言えます。そういった気づきや思いを人に伝え、仲間を増やし、地域団体や行政と一緒に、まちを良くする活動を具体的に進めていく。

多くの地域では、そんな人々の「気づき」から最初の一步がはじまり、それが地域全体を巻き込む活動にまで発展してきています。



あなたの「まちを良くしたい」という「気づき」、ここからすべてが始まるのです。

# 地域の課題をはっきりさせましょう

## 「最初の一步」を踏み出す前に

「もっと快適に自分のまちで暮らすには、ここを変えなきゃいけないのでは？」

暮らしに必要なこと、大事なことをきちんと見据えると、地域の課題がはっきりとしてきます。漠然とした思いから、徐々に地域の課題をはっきりさせていく。そうすれば、それへ向けて何をすればいいのかも、明らかになってきます。例えば、神戸市の住民自治組織実態調査では、防犯、ゴミ出し、ペットの飼育マナーが課題のトップ3を占めていますが、その他にも、地域の状況に応じて、さまざまな課題があると考えられます。

その時、ひょっとすると、その課題は、いろいろな地域団体がすでに取り組んでいたり、解決策を検討していたりすることかもしれません。場合によっては、各地域団体に呼びかけ、相談すれば、解決に乗り出してくれることがあるかもしれません。また行政サービスの一環として、すぐに対応・処理してくれる場合もあるでしょう。

## 「最初の一步」までの、いくつかのステップ

そこで「気づき」から最初の一步を踏み出すのに、次のようなステップが考えられます。

### 1 地域の課題をはっきりさせる

地域の課題を漠然と感じたり、不安に思っているだけでは、なかなか人には伝わりませんし、共感も得られません。その課題の内容や原因が何であるのか、他の人にも説明できるように、はっきりさせておきましょう。



### 2 行政サービスで対応できる問題かどうか、調べてみる

地域の課題の中には、行政サービスで対応してくれることも結構あります。行政がどの程度のことできて、できないのか？また、住民はどの程度のことをしなくてはいけないのか？それぞれの役割を整理してみましょう。



行政サービスでは難しいと分かったら...

### 3 すでにある地域団体に対応できる問題かどうか、調べてみる

地域の団体がすでに取り組んでおり、対応できる問題もたくさんあります。調べてみて、できそうであれば、その中で自分の役割を見つけて、解決を図りましょう。



## 「最初の一步」へ！

今ある仕組みで、その課題が解決できないときには、そう、まずは「最初の一步」を、自分で踏み出してみましょう！ 本書では、そのために役立つアイデアや考え方を、ご紹介していきます。



# 仲間を探し、できることから始めましょう

## 仲間を探す

気づいた時から、すぐ活動を始めることもできますが、やはり仲間はたくさんいたほうが良いでしょう。行政に話をするにも、地域の団体で発言するにも、一人よりは二人、二人よりは三人、よりたくさんの仲間がいたほうが、発言の意味も力も大きくなってきます。普段からおつき合いのある人から始め、仲間を探してみましょう。

## 仲間探しのヒント

1 まずは、ご近所の知りあいに声を掛けてみましょう  
最初は、やっぱり知っている人でないと声を掛けにくいもの。地域の中でおつき合いのある人や見知った人に声を掛け、気づいた地域の話題を話してみましょう。案外、自分の知らない情報を知っているかもしれません。



2 同じ課題を抱えている人を探してみましょう  
地域の課題は、あなた一人だけが問題としていることは少ないはずです。同じ考えの人は身近にいませんか？ その人は、あなたにとって強い味方。話し合うことで、課題がもっとはっきりしてくるでしょう。



3 行政も重要な情報源  
課題によっては、行政も重要な情報源になります。自分が気づいた問題について、他地区でいろいろな試みをされている方を教えてもらえるかもしれません。自分の地域でなくても、同じ課題を抱えている人や団体は、やっぱり強い味方です。



くわしくは **43** ページへ

できることからはじめてみる...

課題もはっきりし、ある程度の仲間も見つけることができました。いよいよ、活動を始めることとなります。でも、最初から大きなことができるわけではありません。大きな成果にたどり着くには、着実な活動の積み上げが必要です。まずはできることから始めてみましょう。

できることを見つけるために

### 1 自分たちの役割を整理する

課題をはっきりさせるとともに、その課題に対する行政や地域団体の立場も把握することが大切です。では、その上で、自分や仲間たちの役割は、どこにあるのでしょうか？ 自治会の役員会で提案すること？ すでにある活動に参加すること？ あるいは、新たに自分たちでゼロから活動を行うこと？ 役割はいろいろと考えられます。地域での自分たちの役割を整理し、「できることはなにか」を考えましょう。



### 2 すぐできることを見つける

自分たちの役割の中でも、「すぐできること」「時間をかければできること」「時間をかけても難しいかもしれないこと」などがあると思います。その中でも、特に大切なのは、「すぐできること」。とりあえずやってみることで、状況は変わってきます。まず、「すぐできること」を見つけてみましょう。



### 事例紹介

できることからやってみました！ 中央区連合婦人会 かってにーがーでん



植栽の様子

阪神・淡路大震災後、中央区の国道道路の植栽が荒れた状態で、ごみも捨てられていました。市もなかなか手が回らない状況で、婦人会が中心となって自ら「できることからやってみよう」と植栽実施をスタートしました。区役所とも相談し、地域のふれあいのまちづくり協議会等の他団体にも声をかけて活動の輪を拡大。平成15年度パートナーシップ活動助成に申請し、採択されました。国道道路沿道の住民にも声かけをし、日常の水遣りなども依頼するなか、無事完成しました。平成17年度から区役所の事業の一つとして、このような仕組みが一般化されました。できることから始まった地域の先駆的な取り組みが市の施策になりました。

# もっとくわしく調べてみましょう

もっといろんなやり方があるかも...

まずは、すぐできることからやってみる。ただ、そのやり方については、いろいろな方法があるかもしれません。あなたの「気づき」や取り組みにふさわしい活動が、すでに日本各地で試みられているかもしれません。「すぐできて、もっと効果的!」そんな方法があるかもしれません。もっと詳しく調べてみるのも、スムーズな活動に向けて、重要になってきます。ここでは、詳しく調べるためのヒントを挙げてみました。

詳しく調べてみるためのヒント

## 1 行政は重要な情報源

何といても行政は、地域の情報をたくさん持っています。まずは行政の窓口にお問い合わせみましょう。

## 2 他の地区の人に聞いてみる

他の地域で同じような活動をしている人がいれば、直接聞いてみましょう。実際に活動に取り組んでいる人からは、貴重な意見が聞けるはずです。

## 3 情報誌や書籍で調べてみる

「協働と参画のプラットフォーム通信」など、地域の活動をとあげた情報誌も行政やいろいろな団体が発行しています。他の地区の取り組みも参考にしてみましょう。また、最近では地域の問題に関連した図書もたくさん出版されています。必要に応じて探してみましょう。

## 4 インターネットで調べてみる

情報誌や書籍と同じく、インターネットでも、地域の問題を扱うホームページが増えています。また日本各地の情報を、即座に手に入れることができます。一度、検索を試みてはいかがでしょうか？



### 情報誌や書籍

まちづくりに関する文献は、「こうべまちづくりセンター」内の「まちづくり情報センター」に数多く収集されています。

#### 「こうべまちづくりセンター」

<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>  
神戸市中央区元町通4-2-14  
TEL : 078-361-4523

#### 「協働と参画のプラットフォーム通信」

神戸市内の様々な地域活動を2ヶ月に1回発行して紹介する一番身近な情報誌。各区役所まちづくり推進課や「協働と参画のプラットフォーム」で無料配付。連絡先は43ページへ。

「季刊 まちづくり」(クッド研究所学芸出版社)全国各地のまちづくりを季刊で詳しく紹介。専門家向け。

### インターネットで調べてみる

#### 「難問解決! ご近所の底力」

<http://www.nhk.or.jp/gokinjo/>  
地域の問題を扱うNHK人気番組のホームページ。これまで番組で扱われた地域課題の解決への妙案などを整理して紹介。

#### 「神戸市 暮らしのガイド」

<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/15/020/ku-rashi/chiiki.html#katsudou>

神戸市のホームページの中で、地域活動や市民活動を扱うのはここ。幅広い情報やリンク先がある。

#### 「協働と参画のプラットフォーム通信」

<http://www.kobe2001.or.jp/index.shtm>  
神戸市の各地域で取り組まれている協働と参画の事例が紹介されている。

#### 「地域づくり百科」

<http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp/>  
(財)地域活性化センターが運営。地域活性化が中心ですが、参考になる情報も多い。

#### 「わがまち元気」

<http://www.wagamachigenki.jp/index.html>  
内閣府経済社会総合研究所が運営。全国の地域の問題への取り組み事例紹介や論文など幅広い情報が集まる。